

政策評価シート（令和元～4年度）

分野	3 商工・物流
----	---------

評価責任者	所属	経済局
	氏名	稲葉 光

政策	1 次代を担う本市を代表する産業を生み出します
政策の目的	<p>【地域経済をけん引する産業の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多種多様な業種で、バランスよく構成された産業構造となっています。 ○経済をけん引する力強い産業の創出と、成長が求められています。 ○今後飛躍が見込まれる産業を重点的かつ積極的に強化していかなければなりません。

(1) 総合評価

評価	A：政策の目的が達成されている
理由	産業振興プランに定めた戦略産業の推進により、三保サーモンのブランド化をはじめとした新事業の創出が促進された。また、新規企業立地件数についても目標を大幅に超える見込みである。これらの各施策の成果に加え、成果指標としている市内総生産額についても目標値を既に達成していることから、政策の目的が達成されていると判断し「A」評価とした。

※【評価基準】 S：政策の目的が十分に達成されている。 A：政策の目的が達成されている。 B：政策の目的があまり達成されていない。 C：政策の目的が達成されていない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

指標名	現状値	R4目標値	実績値 (R4.3末時点)	達成率(%) (R4.3末時点)	評価	目標値の算出根拠
市内総生産額 現状値：3兆880億円(2014推計) 目標値：3兆2,140億円(2022)	3兆880億円 (2014推計)	3兆2,140億円 (2022)	3兆3,472億円 (2018)	104.1%	a	第2次静岡市産業振興プランと同じ目標とした。プランは経済センサス等の統計資料や日精25年度までの経済の動向から平成26年推計値3兆880億円及びR4目標値3兆2,140億円を算出している。
					—	

※【評価基準】 s：既に目標値を達成している、 a：目標値を達成する見込みである、 b：目標値をやや下回る見込みである、 c：目標値を大幅に下回る見込みである

(3) 第4次総合計画に向けた見直し等

<p>○本市地域資源を活用することで成長の見込まれる事業に対する集中的な支援は引き続き継続する。また、多様な関係者との共創体制の構築や、創業支援等の施策により、新しい技術や価値観を地域経済に取り入れていくことで新事業創出をはじめとしたイノベーションの創出を推進していく。</p>

(4) 政策を構成する施策及び主要事業

施策1	戦略産業の育成・集積を推進		
総合評価結果	R元	R2	R3
	A	A	A

施策2	都市型産業の新規企業立地		
総合評価結果	R元	R2	R3
	A	S	A

施策3	企業の誘致と留置の推進		
総合評価結果	R元	R2	R3
	S	S	S

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	3 商工・物流
----	---------

政策	1 次代を担う本市を代表する産業を生み出します
----	-------------------------

施策	1 戦略産業の育成・集積を推進
----	-----------------

施策の目的	第2次産業振興プランで位置付けた、本市経済をけん引する5つの戦略産業について、重点的に振興することにより、その経済効果を本市産業全体に、広く普及させていくことを目指します。
-------	--

評価責任者	所属	経済局 商工部 産業政策課
	氏名	課長 桐野 勝

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	戦略産業に係る各施策は概ね順調に実施されており、成果指標について目標値を達成したことから、戦略産業の振興に一定の成果を挙げていると判断し、評価をAとした。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	戦略産業に係る各施策は概ね順調に実施されており、成果指標について目標値を達成したことから、戦略産業の振興に一定の成果を挙げていると判断し、評価をAとした。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	戦略産業に係る各施策は概ね順調に実施されており、成果指標について目標値を達成したことから、戦略産業の振興に一定の成果を挙げていると判断し、評価をAとした。－
	令和4年度	－	理由	－

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
			1	5件	5件	100.0%	a	
成果指標	戦略産業振興プラットフォームによる新商品開発・新分野進出等件数	18件 (H27～H30年度)	2	5件	5件	100.0%	a	第2次産業振興プラン（H27-R4）における目標値を「R4時点で延べ38件」としているため、H27目標値（3件）を除く年平均値として、目標値を毎年5件とする。
			3	5件	5件	100.0%	a	
			4	5件	－	－	－	
			1					
指標成果以外の			2					
			3					
			4					
			1					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
戦略産業振興プラットフォーム事業	戦略産業創出に向けた、企業支援の専門家、公的機関等による支援体制構築及び事業化支援	6	1	—	—	—	—	—	—	○
			2	—	—	—	—	—		
			3	—	—	—	—	—		
			4	—	—	—	—	—		
海洋産業クラスターの創造事業	地元産業技術と大学等とのマッチングによる海洋資源を活かした技術開発や産業創出の支援	1	1	22,502	0	15,730	3.0	1.0	0.0	○
			2	17,200	0	10,340	2.0	1.0	0.0	
			3	11,900	0	9,154	2.0	1.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
食品・ヘルスケア産業推進事業	産学及び県中部地区自治体等との連携による、高付加価値型食品等の開発の支援	1	1	2,180	0	2,180	0.3	0.0	0.0	○
			2	2,180	0	2,180	0.2	0.0	0.0	
			3	2,000	0	2,000	0.2	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
ホビー産業育成支援事業	ホビー産業の振興に向けたプラモデルを核としたホビー産業の支援、情報発信等	1	1	4,146	0	1,884	0.3	0.0	0.0	○
			2	4,126	0	343	0.3	0	0	
			3	3,593	0	2,846	0.3	0	0	
			4	—	—	—	—	—	—	
ロジスティクス産業立地促進事業	①官民連携によるポートセールス活動 ②市内物流事業者を対象としたロジスティクス産業育成セミナー	1	1	1,754	0	703	0.7	0.0	0.0	○
			2	1,140	0	473	0.7	0.0	0.0	
			3	1,083	0	281	0.7	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
文化・クリエイティブ産業振興センター運営事業	文化・クリエイティブ産業振興センターの管理、運営	1	1	85,037	0	84,951	0.7	0.0	0.0	○
			2	85,755	0	85,661	0.5	0.0	0.0	
			3	85,755	—	85,003	0.5	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	なし	
令和2年度	なし	
令和3年度	なし	
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	3 商工・物流
----	---------

政策	1 次代を担う本市を代表する産業を生み出します
----	-------------------------

施策	2 都市型産業の新規企業立地
----	----------------

施策の目的	市街地に集積する情報サービス産業やクリエイティブ産業などの都市型産業の振興を図ることで、本市の産業の活性化を目指します。
-------	--

評価責任者	所属	経済局 商工部 産業政策課
	氏名	課長 桐野 勝

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	各施策は概ね順調に実施されており、成果指標について目標値を達成したことから、都市型産業の新規企業立地に一定の成果を挙げていると判断し、評価をAとした。
	令和2年度	S：施策の目的が十分に達成されている。	理由	各施策は概ね順調に実施されており、成果指標について目標値を上回る5件の立地達成したことから、都市型産業の新規企業立地に一定の成果を挙げていると判断し、評価をsとした。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標について目標値は達成できなかったが、各施策は概ね順調に実施されており、都市型産業の新規企業立地に一定の成果を挙げていると判断し、評価をAとした。
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	3件	3件	100.0%	a	
都市型産業の新規企業立地件数	11件 (平成31年度)	2	4件	5件	125.0%	s	直近の実績は年3件であるが、補助制度の周知、シェアオフィスを設置している民間事業者との連携等を図ることにより、総合計画に定める合計17件（R1～R4）の達成に向け、各年度の目標値を設定した。	
		3	5件	4件	80.0%	c		
		4	5件	—	—	—		
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3</						

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
都市型産業立地促進事業 (R2以降は本社機能移転・拡充推進事業と併合)	都市型産業の立地促進に向けた首都圏でのプロモーション活動 ※R2以降は本社機能移転・拡充推進事業と併合して実施。	3	1	220	0	126	0.8	0.0	0.0	—
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
本社機能移転・拡充推進事業	地域再生計画の目標に掲げる「東京23区からの本社機能移転」推進のための事業 ①首都圏展示会への出展 ②市内シェアオフィス・コワーキングスペースの入居促進	2	1	5,986	0	4,937	0.7	0.0	0.0	○
			2	9,465	0	1,178	0.7	0.0	0.0	
			3	293	12,260	2,353	0.7	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
文化・クリエイティブ産業振興センター運営事業	文化・クリエイティブ産業振興センターの管理、運営	1	1	85,037	0	84,951	0.7	0.0	0.0	○
			2	85,755	0	85,661	0.5	0.0	0.0	
			3	85,755	—	85,003	0.5	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	なし	
令和2年度	なし	
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	3 商工・物流
----	---------

政策	1 次代を担う本市を代表する産業を生み出します
----	-------------------------

施策	3 企業の誘致と留置の推進
----	---------------

施策の目的	市内への企業の進出及び市内における企業の定着を促進し、地域の産業の高度化、活性化及び雇用機会の拡大を図ります。 本市特性を活かした産業集積を図るため、第二次産業振興プランにおける戦略産業の集積や、地方創生の一環である企業の本社機能の移転等による、企業の誘致と留置を推進します。
-------	---

評価責任者	所属	経済局 商工部 産業振興課
	氏名	課長 石川 賢一

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	S：施策の目的が十分に達成されている。	理由	市内外への企業訪問及び助成制度の情報発信等に取り組み、R1年度の目標値17件に対し、目標を大きく上回る31件の立地が実現した。さらに主要事業である首都圏からの本社機能移転については、H31年度に続きR1年度も実現したため。
	令和2年度	S：施策の目的が十分に達成されている。	理由	市内外への企業訪問及び助成制度の情報発信等に取り組み、R2年度の目標値17件に対し、目標を大きく上回る26件の立地が実現したため。
	令和3年度	S：施策の目的が十分に達成されている。	理由	市内外への企業訪問及び助成制度の情報発信等に取り組み、R3年度の目標値17件に対し、目標を上回る20件の立地が実現したため。
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。
※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	17	31	182.0%	s	
成果指標	企業立地件数	17	2	17	26	152.9%	s	第3次総合計画 3商工物流 0103企業の誘致と留置の推進にて、企業立地件数期間計68件（R1-R4）と位置付けられているため、1箇年あたりの件数として17件を目標値に設定した。
			3	17	20	117.6%	s	
			4	17	—	—	—	
			1					
指標成果以外の			2					
			3					
			4					
			1					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
企業立地促進事業費助成事業	市内に工場等を新增設、事務所等を賃借した企業等に対する助成 ①工場等設置事業、②事務所賃借事業、③民間団地開発促進事業、④本社機能移転・拡充事業	1	1	589,219	0	541,010	0.6	0.5	0.0	◎
			2	550,200	0	462,048	0.6	0.5	0.0	
			3	492,000	0	473,189	0.6	0.5	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
企業立地用地開発推進事業 (平成29年度までは企業立地用地検討調査事業)	①企業立地適地の発掘、開発検討 大規模開発検討候補地「竜南地区」の開発検討 ②小規模候補地の用地プロモーション 企業や開発事業者等に向けた用地プロモーション	1	1	9,606	0	5,402	1.0	0.0	0.0	○
			2	1,052	0	0	1.0	0.0	0.0	
			3	9,911	0	7,810	1.0	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
都市型産業立地促進事業 (R2以降は本社機能移転・拡充推進事業と併合)	都市型産業の立地促進に向けた首都圏でのプロモーション活動 ※R2以降は本社機能移転・拡充推進事業と併合して実施。	4	1	220	0	126	0.8	0.0	0.0	—
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
本社機能移転・拡充推進事業	地域再生計画の目標に掲げる「東京23区からの本社機能移転」推進のための事業 ①首都圏に向けた誘致活動 ②市内シェアオフィス・コワーキングスペースの入居促進	3	1	5,986	0	4,937	0.7	0.0	0.0	○
			2	9,465	0	1,178	0.7	0.0	0.0	
			3	293	12,260	2,353	0.7	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
地域未来投資促進法「地域基本計画」推進事業	①WeWorkを活用した市内企業の首都圏プロモーション及び販路開拓支援 個別マッチング、ディスカッションの実施 ②交流(関係)人口拡大事業 首都圏企業の静岡市進出を図るオンライン静岡ツアーの開催	3	1	3,244	0	2,536	2.0	0.0	0.0	○
			2	6,133	0	3,569	2.0	0.0	0.0	
			3	4,200	0	2,986	2.0	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例(◎:計画より進んでいる、○:計画どおり進んでいる、△:計画より遅れている、—:計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	<p>【企業立地促進事業費助成事業】 新型コロナウイルス感染症拡大により、企業訪問などこれまでの誘致活動が制限されることから、新たなアプローチによる誘致案件発掘の必要性が高まっている。</p> <p>【企業立地用地開発推進事業】 ①竜南地区は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業のニーズが不透明となる中で、開発検討の必要性を説明していくために必要な企業側のニーズを正確に見極める必要が出ている。 ②首都圏における用地説明会が実施できないなど、プロモーションが可能となる時期が不透明である。</p>	<p>【企業立地促進事業費助成事業】 企業訪問の一部をオンラインによるものに切り替えるなど、新しい手法による誘致活動を検討していく。</p> <p>【企業立地用地開発推進事業】 ①企業ニーズを再度確認したうえで、現実味のある開発イメージを地権者等に説明していくための検討を行う。 ②プロモーションに向けた準備として、用地の開発許可に係る関係課協議やプロモーション先の検討を進めるなどの取組を行う。</p>
令和2年度	<p>【企業立地促進事業費助成事業】 新型コロナウイルス感染症拡大により、企業訪問の一部をオンラインによるものに切り替えたが、新規誘致案件発掘に苦慮している。</p> <p>【企業立地用地開発推進事業】 新型コロナウイルス感染症拡大により、企業の設備投資計画の見直しが発生したため、大規模開発検討候補地である竜南地区において企業の立地ニーズが不透明な状況が発生している。</p>	<p>【企業立地促進事業費助成事業】 テレワークの推進による地方移転ニーズを取り込むため、東京事務所や県との連携強化を図るとともに、オンラインメディアタイアップ広告の活用など、新しい手法による誘致活動を検討していく。</p> <p>【企業立地用地開発推進事業】 大規模開発の検討を一時中断し、必要性の裏付けとなる企業の立地ニーズや本市への進出意向を適切に把握するため、企業立地ニーズ調査を行う。</p>
令和3年度	<p>【企業立地用地開発推進事業】 新型コロナウイルス感染症拡大により、企業の設備投資ニーズに変化が生じているため、市内外の企業に対し立地ニーズ調査を実施。今後はこの調査結果を基に竜南地区の開発を見極めていく必要がある</p>	<p>【企業立地用地開発推進事業】 一旦立ち止まっていた竜南地区の開発を検討するため、企業立地ニーズ調査等の結果をもとに、地域住民とともに当該地区のあり方を考えるもとなる開発イメージの素案を作成する。</p>
令和4年度	-	-